

# 平成28年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立久喜工業高等学校)

目指す学校像	自分創りを目指し、望む進路実現を図り、真の感動を味わえる”こころ・技・からだ”が育つ学校 －①もの創りの”こころ”と”技”を身につけた人づくりを目指す。 ②知・徳・体のバランスのとれた人づくりを目指す。－
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>個に応じた学力と技術力の向上を推進する。授業態度の確立を図る。授業内容の充実を図る。資格取得等を奨励する。</li> <li>基本的な生活習慣の確立と向上を推進する。欠席、遅刻、早退の減少を図る。服装、頭髪指導の徹底を図る。挨拶と正しい言葉遣いの励行を図る。</li> <li>個々の生徒に応じた進路指導を充実する。生徒の職業観や勤労観を育成するとともに、進路希望に応じたきめ細やかな指導を行う。地域の信頼と期待に応える開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>中学生やその保護者に積極的な情報提供を行う。小学校との交流及び地域の行事等への参加。</li> </ol>
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	11名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (3月16日 現在)	
年	目 標	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策
1	<p>・昨年度、成績優良者は増加した。欠点数と成績不振者も増加したので、減少させられるよう引き続き基礎学力の向上に取り組む。一人一人に分かる授業を心がける。成績優良者を増加させる取り組みを実践することが課題である。</p> <p>・全校で資格取得に取り組む体制を作る。昨年度以上に資格取得表彰者数の増加を目指す。資格取得状況を把握し、次が目指しやすくなるシステムの改善が必要である。</p>	<p>授業改善・学力向上</p> <p>①基礎学力向上のための取り組み(分ける授業展開等)を実践する。</p> <p>②資格取得の意欲喚起と同時に、学校全体で資格取得に取り組む体制を確立する。</p>	<p>①基礎学力向上のための取り組みを、各教科、各学科が計画し、実施、検証を行う。定期考査以外の課題テストを実施する。生徒が学習に取り組む意欲を喚起し、自らが学習できる環境や場所、時間の提供を行う。</p> <p>②各学期ごとに、生徒に資格取得状況を把握させるために一覧表を作成し、生徒が新たな資格取得に向けて意欲的に取り組む。</p>	<p>①基礎学力向上の取り組みを行い、成果と課題を3学期に一覧表にまとめ保護者に連絡をする。</p> <p>①欠点数や成績不振者数を前年度より、10%減少させる。</p> <p>②資格取得状況を把握する一覧表を各学期に配布する。</p> <p>②高校生専門資格等取得表彰者数を10%以上増加させる。</p>	<p>①学期はじめに基礎学力向上の具体的な方策をまとめ、保護者に配布。</p> <p>①学年差はあるが、学校全体で欠点数67個(0.5%)減少。欠点所有者数も41名(6%)の減少となった。</p> <p>②資格取得状況が把握できるシステムを活用し、いくつかの資格を追加した。</p> <p>②高校生専門資格等取得表彰者数が昨年に比べ、7%増加した。学校全体の取得者数が多いため、伸び率が少ないという数値が現れている。</p>	A
2	<p>・ここ数年、遅刻数の減少を目標に指導を継続し、平成20年に7,000回を越えていた遅刻数が大幅に減少した。しかしながら、ここ1、2年は下げ止まり状態である。今年度はさらに方策を重ね、遅刻数の減少を目標にした生徒指導の実施が課題である。</p> <p>・生徒指導に関わる1学年生徒の進路変更が多く出ている。入学直後から1年生に対して全教職員で連携して綿密な指導を行う必要がある。全教職員が共通理解のもと、組織的に指導できる体制を作ることが課題である。</p>	<p>生徒指導</p> <p>①基本的な生活習慣確立のための遅刻指導・挨拶指導を重点的に継続する。</p> <p>②進路変更、退学者を出さない、問題行動を起こさせない指導を充実させる。</p>	<p>①全教職員が参加する遅刻指導週間を、年間を通して実施する。</p> <p>①登下校時のマナー向上、非行防止、交通安全を目的として、全教職員による登下校指導、校内巡回指導を行う。</p> <p>②進路変更、退学者の減少、問題行動を未然に防止する指導体制を確立するために、生徒指導部が中心となり、担任、学年、学科、部活動と連携を図り、整容指導や面談指導を実施する。</p> <p>②いじめ、いやがらせ、暴力行為等の防止を目指し、生徒アンケート及び、生徒、教職員対象の講演会、研修会を実施する。</p>	<p>①遅刻指導を年間10週以上実施する。</p> <p>①遅刻者総数を2,000回以下にする。</p> <p>①登下校指導、巡回指導を年間10週以上実施する。</p> <p>①自転車の乗り方講習会を実施する。(1年4月、全学年5月)</p> <p>②進路変更、退学者数を前年度比5%以上減少させる。</p> <p>②問題行動(指導件数)を前年度比5%以上減少させる。</p> <p>②整容指導を年間5回以上実施する。</p> <p>②生徒対象のいじめアンケートを2回実施した。生徒対象のいじめ・ネット、交通安全に関する講演会を実施した。</p> <p>②教職員対象の発達障害に対するための講演会を実施した。</p>	<p>①生徒指導部主体で学年と連携して遅刻防止週間を11週実施した。しかし、2学期末までで遅刻総数が1,867回と目標の2,000回を切ることは厳しそうである。</p> <p>①教職員による登校、下校指導を年間12回実施し、挨拶、身だしなみ、交通マナー等を指導した。</p> <p>②進路変更する生徒数は昨年同時期より若干増加傾向である。生徒指導がらみの進路変更は減少している。</p> <p>②問題行動(指導件数)は減少したが、指導人数は同数である。</p> <p>②生徒対象のいじめアンケートを2回実施した。生徒対象のいじめ・ネット、交通安全に関する講演会を実施した。</p> <p>②教職員対象の発達障害に対するための講演会を実施した。</p>	A
3	<p>・本校では、未就職者を出さない指導として様々な方策を行ってきた。その結果、ここ5年間、就職率・進学率100%を達成している。ただ、進路意識が十分でなく就職や進学内定に時間の掛かる生徒も一部出ている。そのため、入学当初より学年と協力して計画的に進路指導を行うことが課題である。</p>	<p>進路指導</p> <p>①就職率・進学率100%を実現する。</p> <p>②学年と協力し進路ガイダンスの充実及び面接指導の強化を行う。</p>	<p>①企業側との面談を強化する。(情報収集の強化)</p> <p>①進路指導部内での情報共有を強化する。</p> <p>②進路指導部と学年との連携を強化する。</p> <p>②インターンシップにおける企業連携の強化及び開拓をする。</p> <p>②進路ガイダンス内容を再検討し強化する。</p> <p>②面接指導の強化を行う。</p>	<p>①就職率・進学率100%を実現する。</p> <p>①求人件数を20%増加を実現する。</p> <p>①企業来校数を20%増加を実現する。</p> <p>②進路指導部と学年が連携して進路指導を充実させる。</p> <p>&lt;1学年&gt;進路講演会を実施する。</p> <p>&lt;2学年&gt;進路ガイダンス、保護者対象の進路説明会、各種職業検査を実施する。</p> <p>&lt;3学年&gt;進路ガイダンス、全教職員による面接指導の強化、各種職業検査を実施する。</p>	<p>①就職内定率100%達成。</p> <p>①求人件数37%増加。(非工業含む)</p> <p>①企業来校件数18%増加。</p> <p>②&lt;1学年&gt;進路ガイダンスを実施。12月16日進路の日。</p> <p>&lt;2学年&gt;進路ガイダンス、保護者対象の進路説明会、各種職業検査を実施。</p> <p>インターンシップについては、1月23日より5日間実施予定。</p> <p>(3学年)進路ガイダンス、全職員による面接指導各種職業検査を実施。</p>	A
4	<p>・中学生や保護者及び地域住民に、「工業」をイメージするだけでなく、本校の教育活動、特に実習を中心としたカリキュラムや充実した進路指導のなどを幅広く知ってもらえるような活動が必要である。今年度は、生徒募集のために、学校説明会や体験入学をより充実させるとともに、中学校への出前授業を10回程度行う。HPの適切な更新と情報発信を行う。また、地域の小・中学校との連携の強化を図るとともに各種イベントに積極的に参加し、地域の高校として貢献することが必要である。</p>	<p>開かれた工業高校づくり</p> <p>①学校内外への積極的な情報発信を行い、学校理解を進め、志願者数を確保する。</p> <p>②地域に根差した工業高校として、様々なイベントに参加し、地域に貢献する。</p>	<p>①中学生や保護者及び地域住民に、本校の教育活動をHPや紙面のPR資料を用いて知らせることで積極的に情報発信する。</p> <p>①生徒定員確保に向けて、近隣中学校に対する出前授業や進路行事への参加等を積極的に進め、また学校説明会では、昨年度に引き続き5教科の学習相談を行う。</p> <p>①学校教育活動の情報や非常災害時の連絡を、メールで保護者に発信する。</p> <p>②地元商工会や小中学校等との連携を図り、地域の高校としての貢献度を高める。</p>	<p>①学校HPのアクセス回数を昨年度比10%以上増加させる。</p> <p>①学校PR資料を毎学期作成し、該当中学校3年生に向けて配付する。</p> <p>①全学科参加で中学校への出前授業を実施する。また、進路行事にも積極的に参加して、入学志願者数を昨年度比5%以上増加させる。</p> <p>①メールの保護者配信登録は90%以上をめざし、テストや行事前の情報発信を行う。</p> <p>②地域の行事参加や小中学校及び児童センターとの交流等で年間15回以上対外的な活動を行う。</p>	<p>①HP更新数は、昨年比23%増の163回。アクセス数は5%減の28,842回であった。(12月現在)</p> <p>①学校PR資料(久喜工だより)を年4回発行、学校説明会や体験入学の参加生徒情報を中学校訪問時に提示し、学校説明会12回と体験入学(8,11月)に、のべ1043名の中学生が参加した。(12月現在)</p> <p>①中学校の出前授業を5校で実施し、中学校進路行事へは10回参加した。</p> <p>①久喜メールへの保護者登録は88%である。</p> <p>②久喜市の祭り2回、商工会イベント1回、小学校との交流2回、中学校への出前授業を5回、市議会などより協力、女性議会、食育祭り、選挙啓発活動等に参加して地域住民、近隣高校と交流を深めることができた。</p>	A

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成29年2月17日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		
・他学科の生徒が、垣根を越えて資格にチャレンジし、取得することは素晴らしい取り組みである。また、どの資格が自分にとって重要なのかを周知し、効率的にわかるようにして、生徒自身に選ばせた方がよいのではないだろうか。今後は、多種の資格取得のチャンスをもとに情報提供していくかを検討しなければならない。		
・遅刻指導においては、中学校では学年2名、管理職でローテーションを組んで朝の登校時の声掛け運動を行っている。中学でも決まった生徒の遅刻が多く、その生徒の部活動加入率が低い。部活動が抑止力になっていると思われる。		
・委員からの学校に携帯電話は持ちこめるのですか、ルールはどのように設けているのですかとの問いに対して、生徒がスマートフォンの校内の規定は妥当と考えていますとの答えがあった。		
・進路指導については、先生方が面接指導を丁寧にやってくれて感謝している。		
・生徒からインターンシップは進学も就職もよい経験になったとの意見があった。生徒さんは、どうやって就職先の会社選びをしているのですか、その手伝いを商工会でできないでしょうかという意見があった。		
・自社に十分な設備を持たない会社も多い。学校の設備を使用できるようにしてみたらどうか？以前借りたこともある。こう言う繋がりから、インターンシップ先を開拓することもできるだろう。		
・商工会でも久喜工業高校の電車の話はよく耳にします。こういった取り組みはぜひ続けてください。		
・メール配信について、学校からの連絡は過度すぎると子供自立心が育たないのではないか。		
・会社でも女子が頑張ると男子も頑張る。ある会社では部門によって女子ばかりを採用しているところもあります。高校でも女子を集めると生徒募集につながるのではないかと思えます。		